



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL http://www.heian-group.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 山田 朗弘 (TEL) 0463-34-2771
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,283	△1.0	1,285	△7.4	1,375	△7.3	909	△8.9
2019年3月期第3四半期	7,354	1.0	1,388	11.5	1,484	12.1	998	12.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 907百万円(△8.9%) 2019年3月期第3四半期 996百万円(11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	69.27	—
2019年3月期第3四半期	76.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	33,752	19,179	56.8
2019年3月期	33,714	18,600	55.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,179百万円 2019年3月期 18,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	12.00	28.00
2020年3月期	—	13.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	25.00

(注) 2019年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当12円00銭 記念配当4円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,379	3.1	1,876	△5.6	2,000	△5.6	1,295	△6.3	98.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	14,667,000株	2019年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,533,005株	2019年3月期	1,533,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	13,133,995株	2019年3月期3Q	13,133,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済の概況は、景気は当面弱さが残るものの個人消費は緩やかに持ち直しており、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかに回復していくことが期待されております。また、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意が必要な状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、広告強化として当社施設の特徴や各種オリジナル商品をより多くの方へ伝えるため、各式場のホームページを全面的に刷新し、SNSなどのインターネット媒体を中心とした告知の強化により、新規来館数及び資料請求数の増加に努めてまいりました。

また、継続したフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し婚礼成約率向上に努めてまいりました。

しかしながら、婚礼一組単価および婚礼施行組数は前年同連結累計期間に比べて減少となり、売上高は267百万円（前年同期比7.2%減少）、営業利益は17百万円（前年同期比41.5%減少）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、建物貸切型の葬祭施設として2019年12月に「湘和会館入谷」を開業いたしました。

また、既存大型葬祭施設の施行件数増加を図るため、大中規模対応のフロアを残しつつ小規模にも対応可能な改装を2019年10月「湘和会堂茅ヶ崎」において実施し、家族葬専用式場を新設いたしました。

さらに、生花祭壇および社内製作による「花園」や「追悼壇」など潜在ニーズを具現化したオリジナル商品の提案を通じて想いを確認する「コンサルティングセールストーク」を推進したほか、受注サポート体制の整備を実施しオリジナル生花祭壇販売をはじめ葬祭一件単価の維持向上に努めてまいりました。

一方で、インターネットを含む各種広告媒体を駆使してより細やかな情報発信を定期的に行うなど告知活動を強化するとともに、オリジナル商品を実際に体感していただくための提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動を行いました。

その中で、当第3四半期連結累計期間において当社主要エリアの死亡人口増減率は上昇し、シェア率も上昇したため施行件数は増加となりましたが、当第3四半期連結会計期間においては死亡人口増減率がマイナスに転じる中、シェア率は上昇したものの施行件数は減少となりました。

その結果、葬祭一件単価は会葬者数減少等の影響により減少し、売上高は6,191百万円（前年同期比0.8%減少）、営業利益は1,797百万円（前年同期比3.1%減少）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、互助会加入者総数に対する葬祭の施行利用率は上昇したものの、互助会利用時の葬祭一件単価が減少し、売上高は169百万円（前年同期比3.0%減少）、営業利益は85百万円（前年同期比6.4%減少）となりました。

④ 介護事業

当事業では、グループホームにおける稼働率は引き続き高水準を維持する一方で、訪問サービス部門は稼働数が減少したため、売上高は821百万円（前年同期比0.4%減少）、営業利益は26百万円（前年同期比14.7%増加）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,283百万円（前年同期比1.0%減少）、営業利益は1,285百万円（前年同期比7.4%減少）、経常利益は1,375百万円（前年同期比7.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は909百万円（前年同期比8.9%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して37百万円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が372百万円減少しました。固定資産では、土地の取得等により324百万円増加しております。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して542百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が338百万円減少しました。固定負債では、前払式特定取引前受金が212百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して579百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月7日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,891,848	10,519,331
売掛金	247,536	270,701
商品及び製品	41,762	42,855
原材料及び貯蔵品	99,811	106,698
その他	108,074	161,911
貸倒引当金	△2,439	△2,475
流動資産合計	11,386,594	11,099,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,350,705	4,352,454
機械装置及び運搬具（純額）	98,033	74,641
工具、器具及び備品（純額）	143,785	143,943
土地	8,313,268	8,481,219
その他	91,151	322,612
有形固定資産合計	12,996,945	13,374,871
無形固定資産	33,869	30,498
投資その他の資産		
投資有価証券	153,459	145,430
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	320,946	297,917
供託金	6,854,500	6,854,500
その他	1,938,509	1,919,992
投資その他の資産合計	9,297,415	9,247,840
固定資産合計	22,328,229	22,653,210
資産合計	33,714,823	33,752,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,947	224,804
未払法人税等	513,503	175,073
掛金解約手数料戻し損失引当金	3,486	3,171
その他	831,951	807,512
流動負債合計	1,564,888	1,210,561
固定負債		
繰延税金負債	26,464	35,214
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	147,138	157,705
資産除去債務	128,712	131,671
前払式特定取引前受金	12,992,547	12,780,056
その他	170,813	173,180
固定負債合計	13,549,588	13,361,740
負債合計	15,114,476	14,572,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	15,644,646	16,226,069
自己株式	△670,502	△670,502
株主資本合計	18,598,055	19,179,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,291	453
その他の包括利益累計額合計	2,291	453
純資産合計	18,600,347	19,179,931
負債純資産合計	33,714,823	33,752,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,354,481	7,283,786
売上原価	5,027,074	5,009,951
売上総利益	2,327,407	2,273,835
販売費及び一般管理費	938,552	988,115
営業利益	1,388,855	1,285,720
営業外収益		
受取利息	2,852	2,075
受取配当金	1,048	930
掛金解約手数料	16,765	15,243
受取家賃	33,662	32,771
有価証券売却益	—	3,036
その他	49,182	43,151
営業外収益合計	103,511	97,209
営業外費用		
供託委託手数料	226	224
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	1,611	1,448
保険解約損	163	132
減価償却費	4,968	4,968
その他	683	313
営業外費用合計	7,653	7,087
経常利益	1,484,713	1,375,842
特別損失		
固定資産売却損	—	16,700
特別損失合計	—	16,700
税金等調整前四半期純利益	1,484,713	1,359,142
法人税、住民税及び事業税	430,956	416,608
法人税等調整額	55,305	32,761
法人税等合計	486,261	449,370
四半期純利益	998,451	909,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	998,451	909,772

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	998,451	909,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,838	△1,838
その他の包括利益合計	△1,838	△1,838
四半期包括利益	996,613	907,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	996,613	907,933
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	288,467	6,238,734	99	824,819	7,352,121	2,359	7,354,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	174,274	—	174,274	—	174,274
計	288,467	6,238,734	174,374	824,819	7,526,396	2,359	7,528,755
セグメント利益	30,530	1,854,332	91,564	23,254	1,999,682	758	2,000,441

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,999,682
「その他」の区分の利益	758
全社費用(注)	△611,586
四半期連結損益計算書の営業利益	1,388,855

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	267,606	6,191,163	37	821,730	7,280,538	3,248	7,283,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	169,022	—	169,022	—	169,022
計	267,606	6,191,163	169,060	821,730	7,449,560	3,248	7,452,809
セグメント利益	17,851	1,797,153	85,728	26,679	1,927,413	945	1,928,358

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,927,413
「その他」の区分の利益	945
全社費用(注)	△642,638
四半期連結損益計算書の営業利益	1,285,720

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。